

## 令和4年12月理事会議事録速報

取締役会と同時開催なので、別途役員会欄に掲載の役員会便りと同一内容です。

開催日時	令和4年12月17日 午後4時	開催場所	ブリックアンドウッドクラブ
出席者 (敬称略・ 議長以外各 50音順)  リモート参加 も議決権を有 す。 委任は理事会 のみ	取締役兼理事 11名	議 場 木内 (代表取締役・副理事長)、田井 (理事長)、生木 (副理事長) 新田見、草深、中川 以上6名出席 リモート 井上、岡崎、小宮山、村岡 以上4名出席  欠席 橋本 (田井理事長に委任)	合計10名出席  以上欠席合計1名 以上 委任状を含め出席11名出席
	執行役員兼理事 2名	議 場 リモート 寺島、野村 欠席 無し	以上 出席2名 以上 欠席0名、 委任状を含め出席2名
	最高顧問兼理事	議場 坂	以上1名出席
	以上理事14名		委任状、代理を含め14名出席
	監査役兼監事2名	議 場 高橋、角川	以上出席 2名
	傍 聴 理事でない執行 役員3名	議 場 井口、雪、片岡	以上出席 3名
	MFC管理組合	議 場 出席無し	出席0名
	事務局	議 場 篠本、宍倉、松本	以上出席3名
その他	議 場 中島 (コジロー代取)	出席1名	

### 議題

#### 理事会

##### 1. 手続き事項

理事会は議事を行うための定足数を充足、取締役会も議決を行うための定足数を充足。

##### 2. 委員会報告

###### ① 競技委員会

- ・12/16にミーティングを実施し、コロナ禍で自粛していた競技後の表彰式の再開、5月の開場記念祭におけるドラゴン選手権の実施等につき議論した。

###### ② クラブライフ委員会

- ・12/3(土)にクリスマスコンペ&パーティーを開催。盛会であった。
- ・次は1/3の新年杯。

###### ③ 広報委員会

- ・次の春号 (NEWSLETTER) の企画会議を実施。2月中旬に発行の予定。アンケートの実施を計画している。

###### ④ ジュニア委員会

特に無し。

⑤ ハンディキャップ委員会

- ・査定に基づいて更新を行ない、Homepage にアップした。

⑥ フェローシップ委員会

- ・火曜日プレーの制限拡大を提案したい。
- ・来季の YOKOSO コンペは 3 月、7 月、11 月の 3 回実施予定。クラブライフ、グリーン、フェローシップの 3 つの委員会が中心となり、それぞれの回を取り仕切ってもらうこととなる。

3. 第 38 期年会費について（木内社長より説明）

・36 期以降の年会費は、目標とする目標値を定め、その達成状況に応じて決定することとなっており、確定した 36 期決算に基づいて基準値を計算すると、目標値との乖離は 5 百万円未満であることから、自動的な変更ルールには該当せず、第 38 期の年会費は据え置き、と言う結論となる。

・他方、「カート道路を補修して欲しい」という意見が多く寄せられており、実際にも補修を要する箇所が多い。見積もりによると 30 百万円強という金額であり、通常のキャッシュフローからの捻出は厳しい。これに対応するために、時限的に年会費に上乗せして資金を確保してはどうか。例えば会員一口当たり平均 5 万円あれば 600 口で 30 百万円の調達が可能である。業者との支払条件によっては平均 2.5 万円×2 年というやり方も有り得る。

・上記説明に対し、出席者からは、

「会員のみならず、クランフレンズの皆さんからも、なにがしかの金額を臨時徴収してはどうか」

「如何にメンバーの理解を得るかがポイントであり、仮に徴収するとすればかなり丁寧な説明が必要である。」

「こうした臨時的費用は、BWC の考え方からすればメンバーが応分に負担していくことは自然であり、むしろきちんと理解してもらうことは必要である。今後も臨時的に資金が必要なことはあり得るので、よいきっかけになる。」

といった意見が出され、継続して論議する、との結論となった。本件は、来年 5 月までに最終結論を得る必要が有る。

4. その他（坂最高顧問からの問題提起および提言）

・採用活動の結果、支配人として本間氏が、メインシェフとして島本氏が、それぞれ入社することが決定した。

・お二人を迎え、各々に重要な業務を担っていただくにあたり、以下の 2 点について受け入れる我々としての考え方を改めて整理しておきたい。

① BWC のメンバーであることの意味とは何か。メンバーによるメンバーのためのコースという B & W のコンセプトを、このタイミングで再度確認し、総括しておく必要があるのではないか。

② 若年層の指向が変化する中、スループレーを基本とする B & W において、食事のサービスをどのように位置付け、ビジネス機会を如何に確保することが適切かを、内部でしっかり論議し、ある程度具体的な運営方針を固めた上で、伝達する必要がある。

・①については、考え方をまとめて文章化する方向。

・②については、「新田見氏、草深氏、小宮山氏、高橋氏、片岡の 5 名にて具体案を作成する。」

「各員会にも意見を求め、良いアイデアが出されれば取り入れて行く。」「島本氏も交えて論議し、最終方針を固める。」との方向が確認された。

## 取締役会

### 議題

#### 議決事項

(1) 株式譲渡承認について

→ 普通株 2 株と優先株 3 株の株式譲渡が承認された。

#### 報告・協議事項

(1) 最近のゴルフ場の売り上げ状況について

	本年 11 月	前年	前年比	内平日	前年比	内土日祝	前年比
営業日数 (日)	30	30	0	20	0	10	0
来場者数合計 (人)	2,901	3,221	-320	1,715	-90	1,186	-230
内 M	1,444	1,633	-189	597	-31	847	-158
G	1,005	1,015	-10	670	29	335	-39
V	161	219	-58	157	-25	4	-33
N	291	354	-63	291	-63	0	0
ゴルフ場売上高 (万円)	2,713	3,035	-322	1,545	-107	1,168	-215

11 月の来場者数は 2,901 名で前年比全資格の減少により 320 名減少した。平日はゲストが増加したが他は減少し 90 名減少した。土日祝日はメンバーの 158 名減少が大きく 320 名減少した。特に 20 日以降の土日祝日 3 日間の雨の影響が大きかった。

(無料来場者は 89 名減少なので有料来場者は 231 名減少)

この結果ゴルフ場売上は、2,713 万円で前年比 322 万円の大幅減少。

#### 12 月 16 日迄の経過

来場者数は 1,416 名で、前年同日比 68 名の増加。平日は 153 名増加したが、土日がゲストの 54 名減少とメンバーの 31 名減少により、85 名減少した。

無料来場者が 29 名減少なので有料来場者数は 97 名増加。

この結果ゴルフ場売り上げは 1,352 万円で前年同日比 22 万円増加中。

(2) 最近月の入退会状況について

当期入会は 9 月 1 口 1 名、10 月 1 口 1 名の入会があったが、11 月は 4 口 5 名の入会があった。12 月は 17 日現在で 1 口 1 名の入会があった。

親族会員の入会は 11 月にジュニア親族会員が 1 名入会し、期中 4 名になった。

(3) 従業員に対する年末一時金支給について

当社は賞与が無いが、平成 20 年 8 月決算の営業損益が黒字に転換出来たのを機に、以後毎年前期決算実績を見ながら、将来は賞与支給とすべく徐々に支給額を増やしながら支給してきている。

36期決算は来場者数の減少により厳しい内容であったが、営業損益で利益計上出来、当期純利益も大幅減益ながら利益を確保出来たので、ほぼ前年並み（若干増額）の支給を実施することとし、詳細は代取一任としたい。若干増額支給額のめどは、月給制社員の月給の6割に満たないので、賞与には程遠いが、返済が終わる迄はやむを得ない。

(4) 執行役員委嘱について

執行役員は現在、寺島理事・野村理事・井口総務部長・雪副支配人の4人だが、本日片岡敏氏を委嘱し5人にする。

(5) コースの状況について

理事会のグリーン委員会報告に補足するもの特に無し。

(6) 施設の有効活用について

①特に報告事項が有れば報告。

(7) ミュアヘッド・フィールズ、ミュアヘッド・ミュージアムに関して

①特に報告事項無し。

(8) その他

①EV 充電設備の変更について

ゴルフ場駐車場に5基分のEV 充電用ポートを設置した。これはエネチェンジ(株)という会社から提案があったもので、同社が政府の補助金を使って設置し、利用者はQRコード決済で料金を支払う。電気代は高滝の負担ではあるが、5年経過後は高滝に移譲され高滝に利用料が入る仕組みである。従来の無料の充電ポートは撤去する。土日を中心に駐車スペース不足が起きるので、予約状況に応じて通常の駐車スペースとして使えるようにしていく等、運用面ではかなり工夫が必要である。

→ 以上(1)から(8)の項目について、協議の結果、異議無く了承された。

以 上